



結核は今も身近な病気です

結核とはどんな病気？

結核菌という細菌が体の中に入り、増えることによって起こる病気です。**年間10,000人以上**の新しい患者が発生し、**約1,600人**が命を落としている重大な感染症です。（2023年）

どんな症状が出るの？

初期の症状は風邪と似ていますが、**せき、痰（たん）、発熱（微熱）**などの症状が長く続くのが特徴です。ひどくなると、**だるさや息切れ、血の混じった痰（たん）**などが出はじめ、死に至ることもあります。



結核って治るの？

現在は薬が開発され、**きちんと薬を飲めば治ります**。結核と診断された場合は、医師の指示を守って治療終了まで飲み続けることが最も重要です。

2週間以上、せき、痰（たん）、発熱（微熱）が続く場合は早めに病院にかかりましょう。

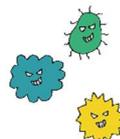


社会医療法人 財団 中村病院
感染管理認定看護師 中村 幸代 氏

感染管理認定看護師からのアドバイス

「感染」と「発病」は違います！！発病するのは感染者の約10%

結核は結核患者が会話や咳などで飛んだしぶきの中に含まれている結核菌を吸い込んで「感染」します。結核に感染したからといって、必ずしも発病はしません。通常は免疫で結核菌を抑え込めますが、肺の中で潜んでいます。免疫力が下がった時に抑えきれなくなると結核を「発病」します。



いつ発病するのか？

一年以内がもっとも多い60%。しかし、数十年後にも発病します。

食器などの物を介して結核が移ることはありません。

こんな事に気を付けよう！！

*規則正しい生活を心がけましょう。 ストレスをため込まない！

*禁煙



*2週間以上続く咳は要注意！受診しましょう。

*乳児の予防接種、BCG（ハンコ注射）を必ず受けましょう。



もっと詳しく知りたい方は、次の公益財団法人結核予防会または厚生労働省のHPをご覧ください。

結核 Q&A

検索



9月24日～30日は結核予防週間です！

